

人生会議
～伝えていきますか？あなたの気持ち～

令和5年5月23日（火）

函館市臨海研究所

2階 大会議室

公益社団法人 函館市医師会
函館市医療・介護連携支援センター
コーディネーター 佐藤 静



◎ 函館市医療・介護連携支援センターとは

函館市医療・介護連携支援センター

人生の最後まで
住み慣れた地域で
自分らしい暮らしを
続けられるように



函館市医療・介護連携支援センター

センターの事業内容

- (ア) 地域の医療・介護の資源の把握、情報提供
- (ウ) 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築
- (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- (オ) 医療・介護連携に関する相談支援
- (カ) 医療・介護関係者の研修
- (キ) 地域住民への普及啓発

◎ もしもの時のための人生会議
～伝えてありますか？あなたの気持ち～

突然ですが…

みなさんは

「もしもの時のこと」を

考えたことがありますか？

考える必要あるの？



もしもの時って
どんな時？



もしものときの
ことをどう考えるの？



「人生会議」ってなに？？



もしもの時のために

もしもの時のために
『人生会議』

アドバンス・ケア・プランニング

ACP

もしもの時のために

アドバンス
(事前に)

ケア
(介護)

プランニング
(計画を立てる)

=

これからの
治療・ケアに
関する話し合い

もしもの時のために

平成30年11月30日（金） 厚生労働省

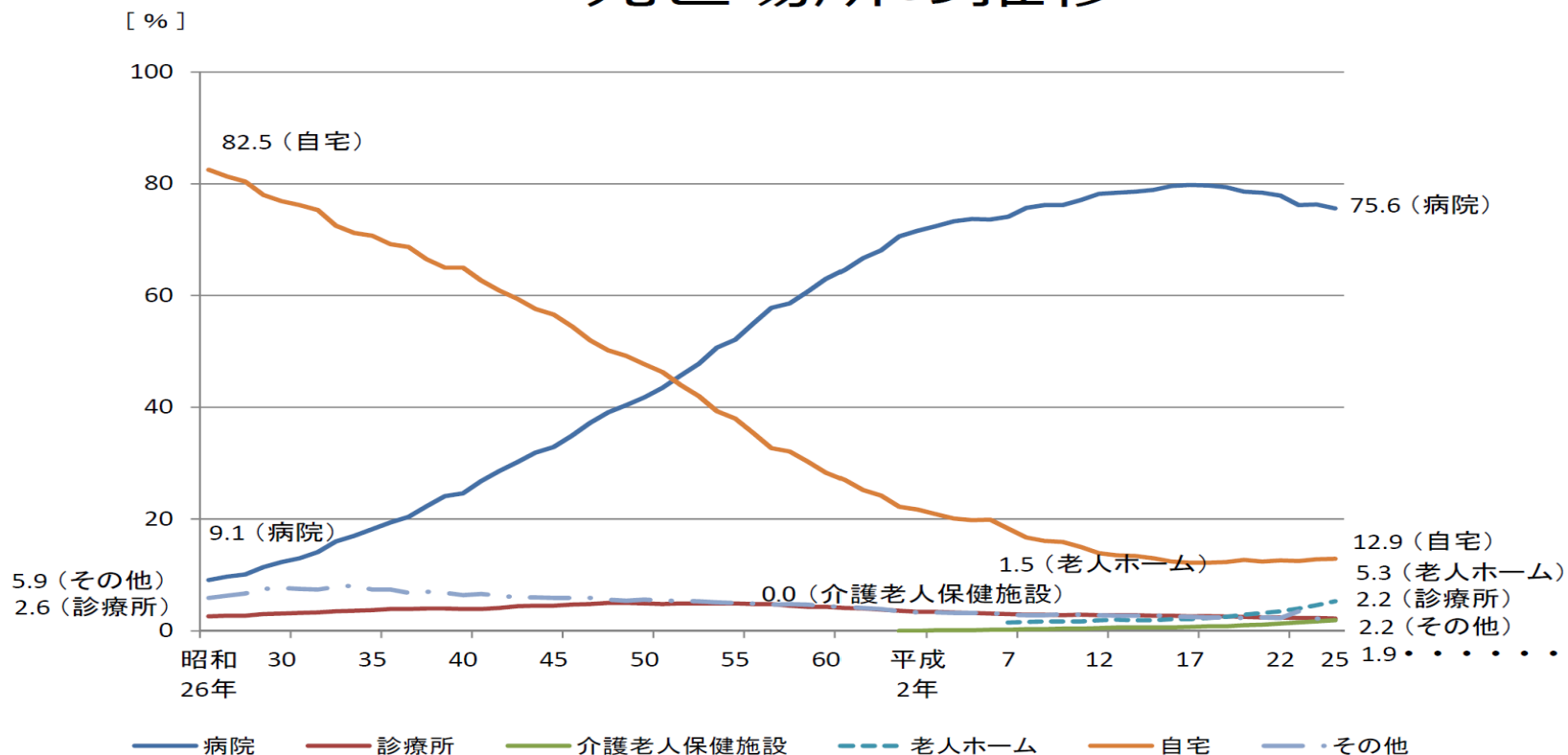
人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み、「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」の愛称を「**人生会議**」に決定しました。

応募総数 1、073件

また、11月30日（いい看取り・看取られ）を「人生会議の日」とし、人生の最終段階における医療・ケアについて考える日とします。

死が身近ではなくなった？

死亡場所の推移

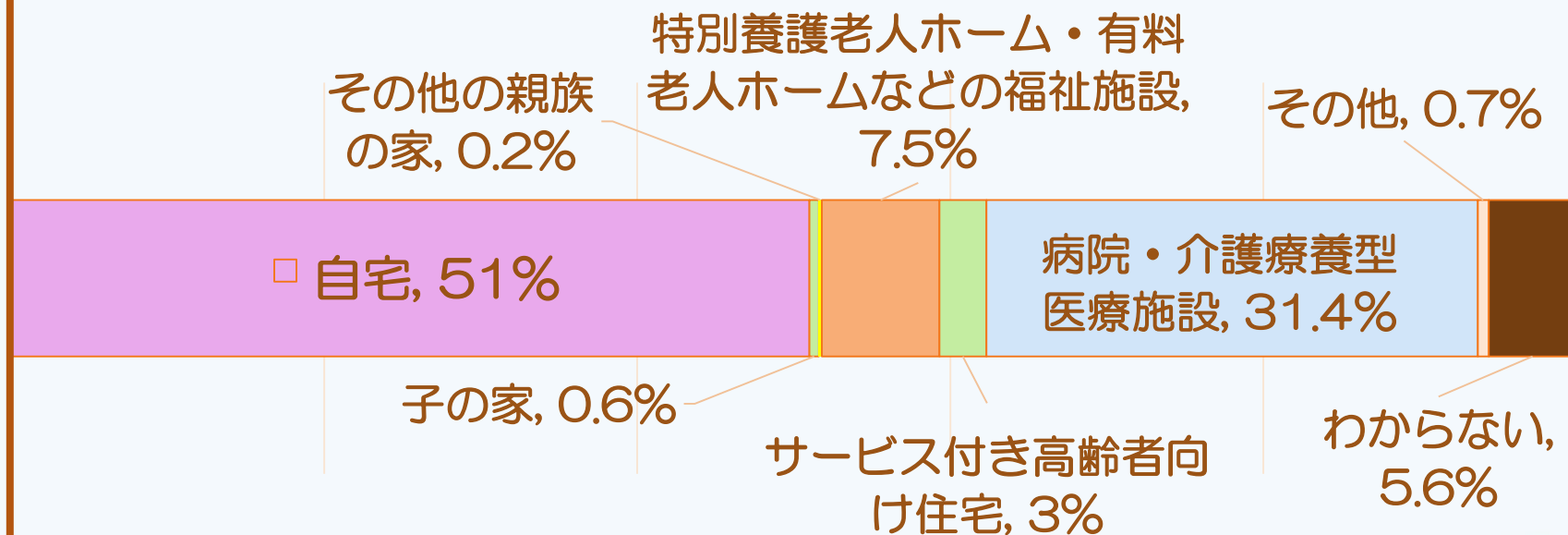


※ 老人ホームとは、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいう。
平成6年までは、老人ホームでの死亡は、自宅又はその他に含まれている。

資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」

最期を迎えたい場所について

○ 最期を迎えたい場所について「自宅」が51%で最も高く「病院などの医療施設」が31.4%、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」は7.5%となっている



“もしもの時”とは

人はみな、いつでも、命に関わるような大きな病気や、ケガをして、命の危険が迫った状態になる可能性があります

- ① 例えば病気や事故で意識不明になったとき
- ② 例えば脳出血や脳梗塞で意識はあっても会話や意思を伝える能力が無くなってしまったとき
- ③ 認知症が進行したとき
- ④ その他の状況で意識不明の状態が続いているとき

もしもの時のために

なぜ人生会議が必要か？

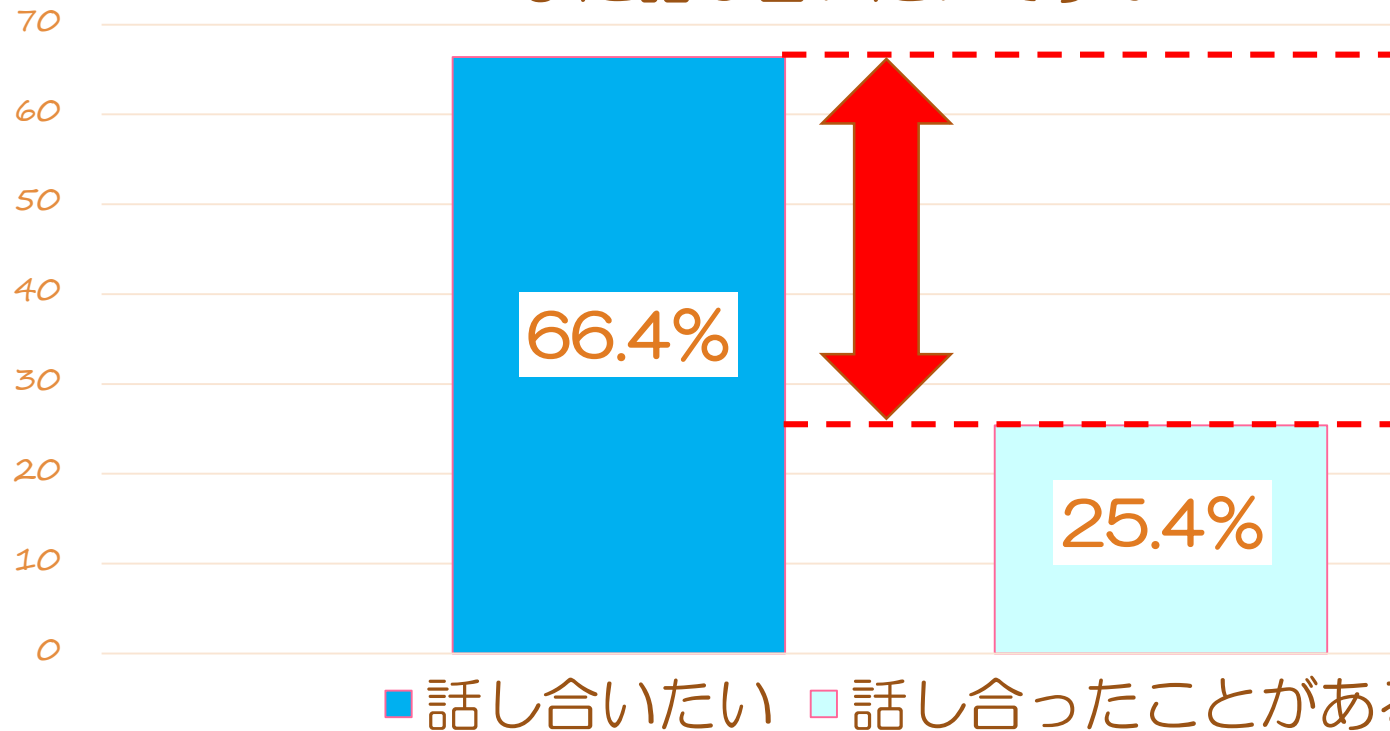
○ もしもの時の状態になると7割の方が、
これからの治療やケアなどについて自分で決めたり、人に伝えたりすることができなくなるといわれています

○ 治療やケアに関する考えを、あなたの大切な人と話し合っておくと、もしもの時に、あなたの考えに沿った治療やケアを受けられる可能性が高いといわれています

もしもの時のために

なぜ人生会議が必要か？

問：終末期にうける医療について身近な人と具体的に話し合ったことがありますか、
また話し合いたいですか



出典：第6回 日本の医療に関する意識調査（日本医師会総合政策研究機構）

人生会議

ACP:アドバンス・ケア・プランニング

大切にしていることを
信頼できる人へ話そう



人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？



もしものときのために

「人生会議」

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～

11月30日（いしづき・きんづき）は人生会議の日

話し合いの進めかた（例）

誰でも、いつでも、
命に関わる大きな病気やケガをする
可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、
**約70%の方が、
医療やケアなどを自分で決めたり
望みを人に伝えたりすることが、
できなくなると言われています。**

自らが希望する医療やケアを受けるために
大切にしていることや望んでいること、
どこでどのような医療やケアを望むかを
**自分自身で前もって考え、
周囲の信頼する人たちと話し合い、
共有することが重要です。**



もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、
前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を
「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」
と呼びます。

あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや
家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

あなたが
大切にしていることは
何ですか？

あなたが
信頼できる人は
誰ですか？

信頼できる人や
医療・ケアチームと
話し合いましたか？

話し合いの結果を
大切な人たちに伝えて
共有しましたか？

心身の状態に応じて意思は変化することがあるため
何度でも 繰り返し考え 話し合いますように

このような取組は、個人の主体的な
行いによって考え、進めるものです。
知りたくない、考えたくない方への
十分な配慮が必要です。



詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html



もしもの時のために

もしもの時のために
『人生会議』

どこで暮らしたいか
どう暮らしたいか

ACP

=

どう生きていきたいか

では…

○どんなことを話し合えば良いの？

例えば…

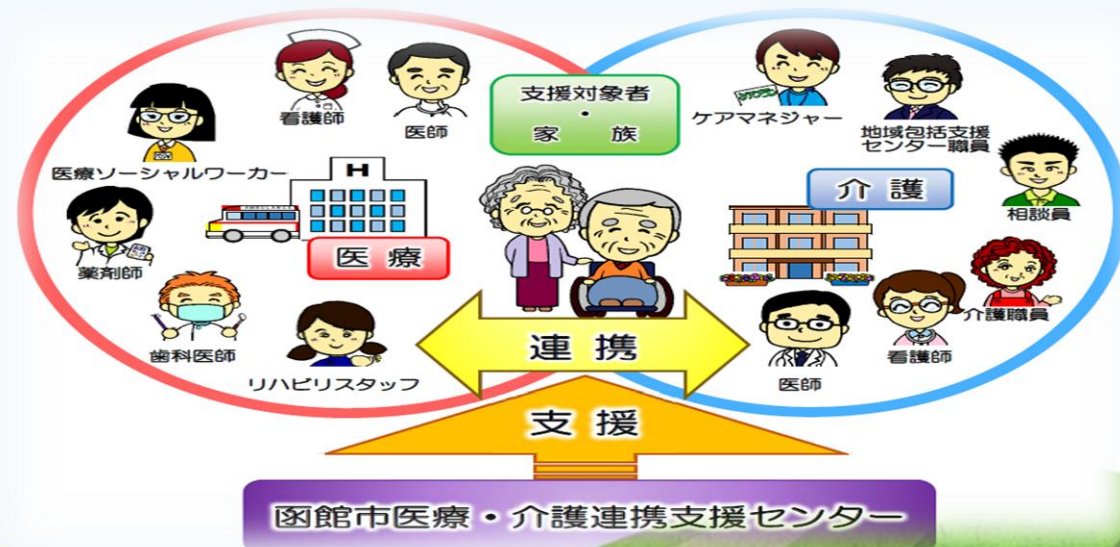
もし生きることができる時間が限られているとしたら、わたしが希望する医療やケアは・・・

- ① 一日でも長く生きられる治療（延命治療）
- ② 身体に負担があっても、病気が治ることを優先した治療
- ③ 身体に負担の少ない、痛みや苦しさを和らげるための治療
- ④ できるだけ自然な形で最期を迎えられるような必要最少限の治療
- ⑤ 自宅ですごすための医療
- ⑥ 痛みや苦しさがなく自分らしく過ごせる医療
- ⑦ 今はわかりません



大切な人たちと話し合った内容を
是非支援者にも伝えてください

医療・介護関係者がチームとなり、ご本人のご希望を中心に最善の選択ができるよう支援いたします



どう生きるのか？
決めるのは支援者ではありません

✿ 主役は皆さんです ✿

医療・介護面での選択場面では、必ず相談先がありサポートいたします

皆さんが自分らしく人生を生きる為に
専門職として、知恵をしばります！！

是非ご相談ください！！！！



『人生会議』は
未来の自分や大切な人への
おもいやり

